

館 報

お お く 寺

おもな内容

- 2面……スポーツの祭典
- 3面……弁論大会をかえりみて
- 4面……分館活動
- 5面……自転車のりは安全に
- 6面……お知らせ
- 7面・8面……みんなの広場

発行編集 大熊町公民館
印刷所 新栄社写真美術印刷



も 掘 り

秋

うすく紅を散らした
阿武隈の嶺々は
抜けるような空の下
静かに横たわっている
送電線の鉄塔は
行進して行く兵隊のように
真っすく その彼方へ
消えていく

きようは保育所のいも掘り
もみぢのような手がいくつも
ひと株のいもに伸びる

「あーっ 大きいあいも」
「こんなに大きなあいも」
「先生 このあいもお家に
持つて帰ってもいいの」

「先生 いも煮会はいつなの」
子供は楽しさいっぱいだ

佐藤先生も
喜び廻る子供達を
ほほえみながらじーっと
みつめていた

わが子のように
先生のおくれ毛に
そっとささやいていく風
それは秋の風だ

スポーツの祭典

女子バレーボールなど 五種目に優勝

郡総合
体育大会

双葉地方町村会、郡体育協会主催による第十五回双葉郡総合体育大会は秋晴に恵まれた九月二十五日、双葉町を主会場に選手役員約千名が参加しにぎやかに開催された。

大熊町からは百五十名の選手が参加し、陸上競技ほか十種目に熱戦を展開、女子バレーボール等五種目に優勝をなし遂げた。

また、総合では惜しくも優勝を逸したが、各選手の手努力により、立派な成績をおさめ準優勝を獲得した。

なお上位成績は次の通りです。

◎陸上競技(男子総合一位)

- 百位 品田健也
- 二百位 石井正弘
- 四百位 石井正弘
- 千五百位 佐々木実
- 五千位 三原一成
- 八千位 三原一成

品田建也 石井正弘

志賀秀豊 下宮久一

走り高跳び 二位 品田健也

◎柔道 二位

- 横山憲夫 関田進
- 近藤利光 工藤成人

◎剣道 二位

- 丹野左内 小林敏男
- 井戸川清隆 丸田忠幸
- 中山竜太 坂上信行
- 石川正之 池沢昭吉
- 田沢憲郎
- 仙石英典

◎相撲 一位

- 池田光雄 加藤直人
- 木幡仁 片寄勇
- 小泉吉雄 渡辺俊昭
- 武内政幸

◎卓球(男子)一位

- 伊藤昌夫 山口道雄
- 新藤健次 富永信男
- 門馬久男

◎女子バレーボール 一位

- 片岡重行 岩井米子
- 赤井照子 泉政子
- 遠藤愛子 江頭幸子
- 柳田春江 佐山輝子
- 青木弘子 志賀栄子
- 佐藤美代子 山田ひろ子

◎家庭バレーボール 一位

- 松永久子 中野重子
- 根本シゲ子 富田睦子
- 斉藤絹子 塚本福子
- 松本トシ子 市原美恵
- 松永久子 杉本幸子
- 田中美奈子 吉田恵久子
- 黒木トミイ

◎銃剣道 三位

- 黒木トミイ



今年八本の優勝旗を校長室に飾る選手たち

中体連で大活躍

大熊中
今年度最後の種目
駅伝競争にも優勝

- ◎庭球(男子) 三位
- ◎バレーボール(男子) 三位
- ◎バスケットボール 三位
- ◎総合
- 優勝 富岡町 点数九九・五
- 準優勝 大熊町 〃九〇・五
- 三位 浪江町 〃八三

- 三位 双葉町 〃八三
- 四位 榑葉町 〃五五・五
- 五位 川内村 〃三四・五
- 六位 広野町 〃二六・五
- 七位 葛尾村 〃二一・五

郡中体連水泳大会は九月一日、大熊中プールにおいて、総勢三百人の選手が参加し、盛大に開催され、大熊中学校は総合で初の優勝を成し遂げた。

先ず女子二十五米自由形選手選二組、二組、どちらも第一位という極めて好調なすべり出しを見せ、続いて平泳、背泳、バタフライ等各種目五十米、百米、二百米などそれぞれ勝ち進み、午後からは決勝が相次ぎ一位、二位独占の種目が十九種目中六種目、一位三種目、

リレー六種目中、一位三種目という立派な成績をおさめた。これを第二位の富岡第二中学校(昨年度優勝校)と点数で比較すると六十二点差となり大熊中百六十一、富岡二中九十九点(一位六十二点……六位一点)で、如何にその差が大きいかがおわかりいただけると思います。

また、今年度最後を飾る第二十回郡内中学校駅伝競走は、去る十月五日、双葉町のルビアンシューズ工場前をスタートし、国道二八八号線を通り大熊町の小塚入口で折り返えすコースで行われた。

この駅伝には郡内中学校から九チームが参加、三十二キロメートルを八人で継走するものであり各校共つば揃いの選手を出場させ激しいデットヒートを展開、大熊中学校は一時間五十二分二十七秒と、第二位(浪江町東中)に二分十七秒の差をつけ優勝した。また、二十日郡山市での県駅伝競走では二十八チームの参加で第九位と上位の成績で終った。

これで大熊中学校は、優勝旗八本をもらったわけで、これまででない成績を記録した。しかし、私たちは結果だけを見、万才を唱えるだけではいけないと思います。あの長い夏休み中、殆んど毎日、学校に來ての猛練習に耐えた選手諸君の努力と熱意、それにご指導ご協力下さいました諸先生方始めPTAの陰の「力」も忘れてはなりません。

英語弁論大会をかえりみて

大熊中英語部会

過日、八月三十日に、本校会場で、第二十六回双葉郡英語弁論大会が行われ、本校からも男子一名（市原敏道、三年）と女子一名（高橋利枝、三年）が参加し、男女共に優勝することができました。男子の方は暗唱の部で、三年生の教科書の「ジョン万次郎の物語」を暗唱しました。女子の方は自作で「海外文通を通して」というタイトルで弁論しました。二人共、聴衆の前で、堂々とした態度で、しかもはっきりしたきれいな音声で、上手に練習の成果を披露することができたと思います。

本校の代表者を決めるにあたっては、校内英語弁論大会を開く時間的な余裕がありませんでしたので、希望者を募りました。この学

校で希望する生徒がいるかどうか半ば心配でしたが、予想以上に希望者が集まり、英語に興味をもち、しかも積極的な生徒がいるということに感心させられました。

又、生徒の練習ぶりは本当にまじめなものだったと思います。最初練習を始めた頃は、この発音でどうなるかかと思いましたが、発音の基礎的なことと口のあけ方、舌の動かし方、唇の押え方など、単語一つ一つで注意されることを、素直にうけとめ、懸命に練習し、一つ一つ確実なものにしていきま

した。学ぼうとするまじめな態度と素直さには本当に驚かされました。

今となつては、夏休み中の暑さにもまけずにやった練習、又、眠

さにもまけずにやった早朝練習などの苦しい思い出が、優勝杯を手にする事によって、何とも言えない快い思い出となり、又、生涯忘れることのできない思い出になったことと思います。それに、「やればできる」ということを、本人のみならず、大熊中全生徒に証明してくれたと思います。

郡代表に選ばれた二人は、後日開かれる県大会に参加します。県大会は、暗唱の部と弁論の部にわかれておりますので、男子代表は暗唱の部に、女子代表は弁論の部に参加します。県大会に参加することによって、他の代表生徒のすばらしい弁論を聞き、視野を広めると共に、又、郡代表であるという心構えを忘れずに、せいっぱい頑張ってほしいと願っております。

教育委員会

事務局より

昭和五十二年度の重点目標であります熊町幼稚園舎の建築につきましては、去る九月定例議会で議決され、九月二十日より着工、五十二年三月二十日完成ということに進めております。

人事につきましては、教育委員の渡辺伝氏を九月三十日で任期満

了となり、退職いたしました。

昭和四十三年大熊町教育委員に選任されて

以来、約十年の永きに亘って教育行政につくされた功績により、去る九月六日に行われた第十三回福島市町村教育委員会委員研修大会の席上、栄えある県表彰を受けました。

町民の皆様と共に感謝の意を表したいと思えます。



尚、後任には、大川原の志賀栄子さんが選任されました。

志賀さんは、昭和二十一年より教職生活に入り昭和四十七年三月大野小学校を退職するまで実に二十六年の間教職にあり、現在大熊町公民館、館報編集委員として活躍されており、今後の大熊町の教育行政に新しい感覚が吹き込まれるものと期待されます。



阿弥陀如来物語

むかし。

大和久に久四郎という人が住んでいました。農作業のかたわら、浜でとった塩をせおって川内村方面に行商していました。

何月かぶりに川内村に行商にでかけました。ところがどうしたことでしょう。村は上を下への大騒ぎです。

ある日のこと、夕方になって宮渡の阿弥陀堂にたどりついた久四郎は、お堂がかたむき、屋根が落ちて雨もりのひどいのに驚きながらお詣りしていました。ふと奥をのぞくと、お顔のきれいな子供ほどの白木の阿弥陀さまのお姿がまれました。信心深い久四郎はあまりのもったいなさに涙を流しました。

久四郎はそばにいた人のよさそうなおじいさんにわけをききました。おじいさんは久四郎の顔を見て、いつも塩売りにくる人なので気易く話してくれました。

それから後、久四郎の心からは仏様のお姿が心からはなれず、行商に出かけるたび、立ちどまつてお詣りするのを楽しみしていました。

「ちかごろ村中に火事があったり、悪い病気で何人も死ぬのです。神さまや仏さまにお祈りしたら、阿弥陀さまがお姿を消してしまつたからだということで、今村中を探している。」と教えてくれました。

ある日のこと、久四郎は堂守の老夫婦のもとにたちよって、「仏さまを荒れ果てたお堂におくのはもったいないから、私にゆずってください。」と歎願しました。老夫婦は、ここにおいては朽ち果ててしまうので、心よく久四郎の願いをきいてくれました。

この上はお寺に納めてお坊さんに拝んでいたかどうかと決心し、いわきの国のあるお寺に納めました。今阿弥陀如来さまはそのお寺の本尊として金色に輝やき、安置されております。

久四郎は家が家の仏壇に安置して朝な夕なお経をあげてお詣りしました。

久四郎は田植えも終わったので、



老人と婦人の研修風景

秋の香いっぱいの昼食をみんなであ

また、婦人会員手づくりによる

分館活動

生き甲斐を求めて

夫沢一区 老人と婦人が集う

去る九月八日、夫沢一区では、老人クラブ員と婦人会員五十数人が、山田秀子さん宅に集り、小高町社教指導員の坂下誠先生を講師に迎え、「これからの家庭づくり」について学習された。助言者として町から公民館長・社教指導員が出席、来賓には熊町婦人会長・東電サービス館長を招き、地域の集いに一緒にやり熱心に研修された。

坂下先生の講話の中から、心に残った言葉をまとめて紹介しますと、家庭の基本と云うのは同質ではない。それぞれの家庭は、皆違っているのだから、決して他人のまねをしてはならない。

①親子、兄弟、血縁は変えることができない。それだけに家の中は逃げ場がない。ゆきづまると争いとなり、殺しにまで発展することもある。互に小の事にめくじらを立てない。心の余裕を持つ事が大切である。

②夫婦と言うものは、もとをたせば他人ですから信頼することである。それは互いの真心であつて何の条件もない。本当の愛により支えられるべきであり、年老いても互に身体の不自由を支え合つたり、仲よく面倒を見合うのは、本当に美しい姿である。

③家庭づくりは役割をきめておくとして、人の領分を荒さぬことである。但し、出来ないことは助け合う心が大切である。近頃は家庭の話題をテレビがさらつたと

もいわれ、時には家庭全体の心の通つたコミュニケーションが必要である。

④教育の折込まれたマイペースの家庭づくりが大切である。世の中が変つたといつても決して人間の心が変わるものではない。古いものの中に新しいものをつくり出す教育が大事である。

また、金に対する考え方、使い方の教育、働く事の尊さも理解され、健康で働くことは、生き甲斐にも通じよう。幸せは、与えられものでなくつくるものである。そうした考え方に対する教育を

みんなの創意で 楽しい部落づくりを

下野上 一区

私は下一区公民館長を長い間勤めているが、何をやればよいのかまだはつきりとはつかんでいない。恥かしい次第である。公民館は集会の場所だけではないはずだ。

私たちの公民館は新しくできた。それにふさわしい活動をしようにと考えてみた。昔は常会と称して毎月一回集つて話し合つた。それなりに意義もあつたが、今それをやっても集る人は少ない。

目的ある集会なら集るに違いない。集れば社会教育もできるはずだ。まだできていない団体の集会を利用することだ。

先ず最もむずかしい成人の集り。当部落は米作農家が多い。苦勞のかいあつて稲作研究会も充足した

忘れてはならない。

⑤外国から見た日本のお母さんは言葉を知らないともいわれる。それは、会話が下手である。相手の気持を知つて会話をすることである。そうすると言葉の中から信頼感が自然と生まれ、人間も変つてゆく。「六窓一猿」と云う儒教の言葉があるが、これは人を見るより己を見ることの大切さを表した言葉である。

夫沢婦人会員の皆様、老人クラブ員の皆様、一人一役責任を果され、本当にご苦勞様でした。益々のご発展を祈ります。

旧大野中体育館

使用手続きは スポーツセンターへ

大熊町総合スポーツセンターの設置及び管理に関する条例の一部が改正され、旧大熊中学校大野分室の体育館(公民館隣)は第二体育館となりました。したがつて管理は大熊町総合スポーツセンターで行うことになりました。使用される方はスポーツセンターで所定の手続きをとつて下さい。

会は装飾、盆踊り勧誘、公民館は執行部、経理、青年はやぐら一切消防は警備、老人クラブは神社清掃、少年女中は盆踊り参加、責任者が区長、ことは二年目、こうした区一丸の盆踊りは自分たちの力でと自覚し、一五〇人の部落民が集つて盛會裡に終つた。

やらなければならぬことはたくさんある。余りあせると逃げてしまふ。

私の感じたことは集ることによってルールができるということである。みんなの申し合せで「集会時間を守る。酒などはいないこと」が提唱され、そして守られるようになった。

社会教育はみんなを考えて一歩でも前進することでないかと思う。(杉本幸一)

自転車のりは安全に 母ちゃん気をつけて



「右折」の仕方を学ぶお母さん方

秋の交通安全週間が、去る九月二十一日より十日間行われました。本年は「自転車の交通事故をなくそう」をスローガンに、交通安全母の会(会長 木幡キサさん)では、去る九月二十四日、大野地区は公民館の広場で松本交通指導員の指導のもとに自転車組合の方々の協力を得、交通ルール、自転車の点検、反射器のつけ方等の指導をうけた。また、年貢道交差点においては、実際に信号器を利用した指導がなされた。

「おっと危い...気をつけて」母さん、おちいちゃん出来ない時は、自転車から降りて引っぱった方がましだ。約一時間の練習に會員は汗だく。

熊町地区では、志賀トリさんを

第四回日独スポーツ少年団同時交流の一環として、西ドイツスポーツユージュメント(少年団)に日本の日常生活を体験させると共に家族ぐるみの国際交流の場を設け、永く友好関係が続くようにとの配慮から二泊の民泊計画でメラ・ユルゲン(男十八歳)他二名の男女少年団員と通訳の石光祐子さんが来町された。

西ドイツから スポーツ少年団員来町

(池沢昭吉氏宅へそれぞれ二名ずつお願いました。西ドイツスポーツユージュメント(東北ブロック)一行二十四名は八月十日午後三時四十分着の列車で福島駅に到着、大熊町から高野スポーツ少年団本部長らが受入れに行き、同日午後六時より町公民館で歓迎パーティーが開かれた。パーティーには遠藤助役他多数の方々が出席し、自己紹介などを通し楽しいひと時を過ごされ、それぞれ民泊家庭へ引き渡された。翌十一日には早朝より大熊町剣道スポーツ少年団員と「もち」を食べながら交歓会がもたれた。西ドイツのスポーツ少年団員たち

- 六才未満の子供を乗車設備のある自転車には乗せることができる)
- ⑤ 方向指示をしない(事故があった場合は自分の不利になります)
- ◆ 家庭の中で法規を守られている順【講話の中から警察署の統計】
- ① 小学生
 - ② 幼稚園
 - ③ 姿ちゃん
 - ④ 女子中学生
 - ⑤ 爺ちゃん
 - ⑥ 父親
 - ⑦ 女子高校生
 - ⑧ 男子中学生
 - ⑨ 男子高校生
 - ⑩ 母親
- 以上のような順位が発表になっております。これを見てもお母さんはラストですね、頑張ってください。



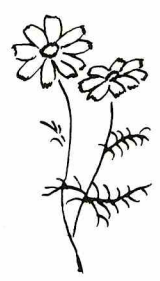
は「もち」は苦手のようでした。西ドイツの団員たちは大部疲労の様子でしたが、大変陽気に振舞い私達日本人とはまた違った、陽気な性格が羨しくなりました。そしてその日は大堀焼見学とまだ日本の温泉を見たことがなく是非見学したいとのことで玉の湯温泉を見学し、夜間は大熊町スポーツ少年団リーダー、OB達と佐藤武氏宅で交流会が催された。

最終日の十二日には、ハワイアンセンターを見学し、四倉こども村でお別れをしました。

二泊三日の短い交際期間中、片言の英語ではあったが、なんとも別れ難い彼らであった。ただ一つ残念なことは海の無い彼らに、太平洋の荒波で泳がせてやることのできなかつたことである。彼らをもっとも楽しみにしていた大きな波のもとで...

俳句

中山 安子
幾万の稚蚕に桑付けたかぶりぬ
積み上げし繭くづれたるまぶしきよ
菅野 ミヨ
れんぎょうの花あたたかき小庭かな
衣がえせーラー服の初々し
猪井 静枝
ゼンマイを干す庭先へ落花かな
湯上りの目にしむ青葉風を身に
たんぼの絮飛んで来る散歩道
並木道目をこぼしをり蝶の国
渡辺 博之
年輪は手に刻まれて茶摘びと
やれ涼しダムを見下す峰に居り
永井 善子
雨風のはげしくなりしほととぎす
孫に買う火花に心はづませて
木村 蓉子
柿若葉見なれし屋根をつつみけり
郭公の声数へつ茶をつみぬ
佐久間 信子
郭公の声を頭上に袋かけ
雁帰るその列もまた夕焼けて
渡辺 政美
つばくらのや働く靴を履きかへて
あやめ濃し昼の蛙に揺られつつ
高野 昭二
麈船へ怒寿の如く秋櫻
朝顔を咲かせて検事官舎るす



クスリの保管は正しく

1. 乳幼児の手のとどかないところに保管しましょう。

家庭の中でもっとも恐ろしいクスリの事故は乳幼児の誤飲ですから、そのおそれのある場所には絶対に放置しないようにしましょう。



2. 正しい管理を……

クスリは、湿気、光、高温をきらいます。クスリの容器のフタを固くしめて、直接日光のあたらない涼しい場所に保管しましょう。



3. 古くなったクスリは……

クスリは、古くなると、効力がなくなるだけでなく、かえって害があることさえあります。惜しげもなく思いきって捨ててください。医師からももらったクスリの飲み残しを他人に飲ませるようなことはやめましょう。



4. 危い!! 容器の入れかえ

他の容器にクスリを入れかえると中味も、使い方もわからなくなってしまつて、事故のもとになります。

殺虫剤などをビールやジュースの空ビンに入れておいて、まちがって飲んでら大変です。



部落対抗野球大会 優勝は下野上

昭和五十二年度、町長杯争奪部落対抗野球大会は、去る十月十日(体育の日)大熊中学校と双葉農業高等学校庭の二会場において開催された。大会には町民体育祭の部落区分により編成された七チームが参加、終始熱の入った試合が展開され、体育の日にふさわしい一日となった。

予選	駅前	1	4	下野上
	町	1	3	夫沢
	小入野	1	3	熊
準決勝	下野上	5	0	夫沢
	熊	12	6	野上
決勝	下野上	3	0	熊

の方々へその都度ホームラン賞が贈られ、参加選手も満足していた。なお、成績は次の通りです。

お知らせ

町民体育祭

老も若きも参加しよう!!

- とき 11月6日(午前9時入場開始)
- ところ 大熊中学校校庭

体育祭前に雨天がつづき大熊中学校校庭での実施が不可能となった場合は双葉農業高等学校において実施いたしますので予めご了承下さい。なお、当日雨天の場合、今年度は中止となります。

親子登山

- とき 11月13日
- ところ 霊山
- 交通 霊山こどもの村まで貸切バス使用

●参加申込 参加費 500円を添えて11月10日まで大熊町公民館へ。なお定員50名になり次第締切ります。

文化展

- とき 11月25~27日(開館 午前9時~午後4時)
- ところ 大熊町公民館
- 展示作品 書・図画(幼稚園・小中学生・一般)
- 作品募集 出品者は11月22日まで大熊町公民館へ搬入下さい。

図書室

あんない

読書の秋です。親子で読書に親しみましょう。公民館では、年に三回、県図書館より新しい本を借り受け、町民の皆様開放して

ります。また、この程次の本を購入しましたのでお気軽にご利用下さい。

世界の幼年どうわ、日本むかし話、世界名作絵本、民話の絵本、岩波こどもの本、司馬遼太郎全集その他約二百冊。



語らなくとも

誰にも経験のあることであるが人に親切にされた時ほど ありがたいと思うことはない。まして年老いてからの受ける親切は、涙が出るほどありがたい……。

九月十五日は敬老の日である。私は毎年この日を迎えるといつも思う。お年よりには暖かい心で接したい。

今、若くてピチピチしている人でも、やがてはとし老いてしまうのである。毎日の新聞や雑誌に嫁さんに不親切にされているお年よりの見るにつけ 大へん気の毒に思う。それにはいろいろと事情があつてのことであろうが、若い時はいっしょうけんめいに働いてく

れたのだから、だいじにしてあげなくてはならない。お年よりの方も、若い人の気持ちを吸みとりがん固さをすて、したっていったら円満にいくのではなからうか。

老いてからは何となく気弱になり、心細く思うものである。特に体の具合の悪い時など尚更のことと思ふ。そして基本態度として、どの母親も子どもを生んだ時から、いや嫁さんに来た時から、まごころをもつて両親に仕え、やさしい心根をもつて生活したなら、その母親を見て育つた子どもたちは、特別に教えてもらわなくともお年よりを大事にするようになると思ふ。

牧水と酒

若山牧水は「幾山河(やまかわ)越えさりゆかば寂(さび)しさのはてなむ国ぞけふも旅ゆく」白玉の歯にしみとほる秋の夜の酒は静かに飲むべかりけり」と歌っているが、この二首は、あまりにも有名である。のびやかなびきがある。

山や河を、いくつこえればよいのか、私たちは「幾山河」を、き

びしい人生の旅路とみて、まいにちの人生にむすびつけたい。

人生のことは、リハサルがきかない。日々、ぶつつけ本番である。だれも、孤独とあこがれをおもう旅人である。人生と自然との調和、さびしさをまぎらす便利なものを酒とすれば、酒と旅とを、ひとつのことにも見立てられる。気ごころのあつた者と、くみかわす酒もよいが、牧水は、独酌でひとりしずかにのむ酒をこのんだ

社会福祉のよくなったこの頃であるが、あたたかい愛情に包まれた老後を送っているお年よりばかりとは限らない。金銭的余裕はあっても家庭不和だったりしたのでは充実した幸な老後とは言われない。

敬愛に満ち、和やかな環境で育つた子どもたちは、やがて自分が父親になり母親になった時、またお年よりを大事にするに違いない。それが無言の感化という。何にもかえがたい敬老の日の宝物であり、贈り物ではなからうか。

大川原 一主婦

あゝ雨の日のこと

長雨が続いた八月の末、私は愛車を運転して町道を走っていました。その日の激しい雨で家路を急ぐ私は近道をしようと狭い道でUターンを試みたのですがあつという間に右車輪がうんだ路肩に入ってしまった、前にも後にも進むこと

ようだ。牧水の魅力の大半は、酒をたたえる歌であった。

もともと、人間は、孤独なのである。そこで「酒は静かに」が、ひろく共感をよんだのであろう。澄んだところになるために、孤独をたいせつにしたい。歯にしみとおるとは、たんなる味覚ではなく、その余韻にある。それは、かわいたところが、うるおい、生気をよび、陶然となる状態といえよう。

(井戸川)

民俗資料館を訪ねて

千古の先民をたずねて遺徳を景仰し、新しい世代への醇風良俗と、限らない子孫の繁栄を心からこいねがうと共に、わが町、大熊町にも更に豊かな心を呼び戻す、何かがあつて欲しいとしみじみ感じてまいりました。

田島町にて
奥会津 昔を語る 青葉かな

資料館佐藤四郎翁先生の御指導に感じつつ。

偶々会津田島祇園祭

夏まつり 古えを説く 老師あり

翁先生古代足けりの機織りを
実演さる

足け機 翁手織れば 風涼し
民具即教訓

つるべあり 炉もあり涼し民具館

栃木に源をなす太古の大川はいま緩やかに会津盆地一大工業団地化発展へと夢を託す。芦牧泊

大川や 青嵐幾重 たびのあざ
(五十二・七・二十一)

大熊町公民館運営委 渡辺清

が出来なくなつてしまったのです。夕暮に近く、途方にくれていたら、き、自転車を通りがかった主婦と軽トラックの男の人に協力してもらいました。二人とも泥だらけになつて車を押ししてくれましたが車は上がりません。

ロープを借りに行ったら農家の主人がトラックターを出してくれ、通りがかった青年と力を合せてやつとあげていただきました。強い雨の中、こんなにくれしく思ったことはありません。

「人には皆、人に忍びざるの心あり」とは中国の思想家孟子の言葉です。幼児が井戸に落ちようとすれば誰もがかけて寄って助けます。それはお礼をもらおうなどという気持ちからはありません。人が生まれながらにもっている、惻隠

橋本鉄治郎氏

体育功労者で表彰

地域スポーツの普及振興に貢献された橋本鉄治郎氏(夫沢一區)は、去る九月二十五日双葉町で開催の双葉郡総合体育大会開会式において、社会体育功労者として、那体育協会会長より表彰された。

同氏は、永年にわたり銃剣術の指導的役割を果し、地域スポーツの振興に貢献され、その榮譽をたたえられた。

疎直と銘柄米

熊一区の山本幸一さんが空中田植をはじめて五年、これが発展して疎植（一尺角植）となり、今年で二年になりますが、十数人の仲間定着し、それぞれ相当の収量を収めております。

ペーパートポット苗の疎植の良い点は①健苗の二・三本植え。②活着がよい。③みごとな開張型で分けて旺盛。④茎が太い。⑤光線が常に根本まで入る。⑥倒伏・病気

に強い。⑦収量が多いことなどが考えられます。

一方欠点とされるのは①種まきに時間がかかる（三人で一日一町歩位）。②田植えに時間がかかる（一人一日一反り一反三畝位）

管理面では、播種したら直接トネルをかけ、発芽したら毎日水をやる。あとは電床育と同じです。大きく違うのは、稚苗でなく三十日から三十五日で植える中苗で

野らね三匹

私の家には犬一匹と猫が三匹いますがそのうちの二匹の猫はつい最近他所から入ってきた捨て猫です。この頃ようやくわが家の二匹の猫と仲よくなりました。

皆さん、動物をかわいがりましょう。特に「この頃捨て犬、捨て猫が多くなって困った」とあちこちから耳にします。生まれて目があいて乳ばなれしてからどこかに捨ててくる。こんな残酷なことはないと思います。もし家庭内で不幸なことが起きたりすると、捨てた犬猫のせいではないか等と考えられる事もあるでしょう。犬も猫も飼っていれば皆家族の一員です。それが捨てられて方角もわからず空腹をかかえて家をさがしてなきよく動物の好きな人に拾われたものは幸ですが大部分はのら犬、

子どもの心

私の家では毎年孫たち（小五・小三・幼）が中心となって私たちを祝ってくれている。

十五日の朝、大きい孫が招待状をもって来た。こんばんお祝いしたいから来て下さいという意味のものである。

あることです。田植後の管理は、今までの機械植えと同じで、元肥を少なく追肥重点でもつていきませす。穂揃えは若干悪いようですが一株三十本から三十五本位のみごとな株ができていきます。また一穂の粒数も茎が太いので百数十をつけることができます。密植と違い空間があるので、風通しがよく光線が入り下葉の枯れあがりも少なく、モンガレ・イモチ病に強くなります。

付けがおこなわれております。銘柄米の欠点は、葉イモチと穂首イモチに非常に弱いことです。これを克服するため、密植をきけ疎植でがっちりした稲型をつくり、穂イモチの防除剤を組み合わせた安全多収の稲作りが可能ではないかと農事研究会では取りくみを進めているところです。

大熊町農事研究会長 河西 確

ママさんバレーク誕生 この程、町内のバレーボール愛好者によるママさんバレークラブが誕生しました。年令二十五才以上の主婦で構成し、若さと健康の保持、明るく楽しい生活のかたとする等を目的としております。なお、クラブでは、次により会員を募っております。

会費 月五〇〇円
入会金 一、一〇〇円
申込先 佐藤ミサ子さん宅
電話 二四五八番

編集後記

枚ずつもらった。私たちは子どもらしい心根に泣かされた。彼等は毎年趣向をかえながら、自分の小遣いで祝ってくれる。

夕方三人の孫たちは迎えに来た私たちは果物など少々もってトージを訪れた。部屋はテープなどで飾られ、正面には「おじいさん、おばあさんおめでとう」と書いてあった。開会のことはカセットに収めてあった。

この館報九十八号が読者の皆さんの手もとに届くころは十一月の聲が聞かれると思う。日航機の乗り取り事件で大騒ぎをした十月も暮れることとなる。みんなの胸より消え去ろうとしているハイジャックの恐しさ、この防止策をもう一度みんな考えてみたい。

「おじいさん、おばあさん、いつまでもお元気で働いて下さい。つまらないものですが受取って下さい」私は大きなバナナ一房を渡された。

十一月（陰曆十月）は別名神無月ともいわれる、日本じゅうの神様が出雲に集って縁結びの会議をおよそ一カ月行われるそうである神様が社をすにする月である。結婚のシーズンでもある。より立派なカップルの誕生を祈りたい。

次は乾杯。二人で音頭をとった。そしてパーティーがはじまった。カセットからはいつ納めたのか家族の人の歌が披露された。

館報の原稿をお寄せ下さい。要領は四百字詰原稿用紙一枚程度です。一、主張、産業、教養、文芸に関するもの何でも結構です。二、政治的な色彩をもたないもの、個人非難に属する抽象的なもので常に建設的なもの。

お母さんがつくってくれたご馳走をたべながらみんなで楽しく一夜をすごした。

わが家の敬老の日のお祝いは五年前からはじまった。最初の年はへソクリがないからと十円硬貨一